

海外安全対策情報（平成26年1月～3月）

1 社会情勢及び一般犯罪の傾向

- （1）1月7日夜、カスリン県タラにおいて革命犠牲者を追悼するデモ行進を阻止された若者集団と治安部隊が衝突し、投石を始めた若者集団に対して、治安部隊は催涙弾で対抗するなどしました。また、同月8日にはカスリン県で開発の遅れに抗議するゼネストが行われました。
- （2）2月26日、革命防衛団のクラム支部長が、ネット上で警察官を殺害すると脅すようなビデオを公開したとして逮捕され、同日革命防衛団支持者らがタイヤを燃やして道路封鎖したり、火炎瓶で治安部隊を攻撃するなどし、数十名が逮捕されました。
- （3）2月26日、ガフサ県メトラウイにおいて、リン鉱石会社系列の環境保全会社が発表した新規採用結果に不満を持った集団と治安当局との間で衝突が発生しました。同集団は警察署に放火した他、幹線道路を封鎖し、これを排除しようとした治安部隊に対し石や火炎瓶を投げたため、治安部隊は催涙ガスで対抗しました。
- （4）電車内における盗難事件等が増加しています。停車駅で電車の扉が閉じる直前に所持品を強引に奪い降車して逃走する、あるいは混雑した車内で気がつかない内にバッグやポケットから所持品を盗むといった事件の他、道路上において歩行者（特に女性）を狙ったバイクによるひったくり事件等が発生しています。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

いずれも邦人が被害に遭遇した凶悪犯罪事件は認知していません。

3 テロ・爆弾事件発生状況

- （1）2月4日、アリアナ県ラウウェードにおいて、家宅捜索に行った治安部隊とテロリスト集団との間で銃撃戦が発生し、テロリスト7人が死亡、1人が負傷し、治安部隊側も隊員1人が死亡しました。テロリストが潜伏していた民家には、自爆ベルト、爆発物の原料等が発見されました。
- （2）2月8日夜、アリアナ県ボルジュ・ルジール地区でテロリスト4人とテロ特殊部隊との間で銃撃戦が発生し、テロリスト4人が逮捕された他、重機関銃などの武器や文書、携帯電話等が発見されました。同4人は、ラウウェード銃撃戦のグループと同じテロ組織に所属し、4日の銃撃戦に対する治安機関への報復を企てていたとのこと。
- （3）2月16日、チュニスから西へ約170kmのジャンドゥーバ県アウレド・マナア地区の道路上で、武装集団が複数の車両に発砲し、民間人1人を含む4人が死亡するテロ事件が発生しました。内務省の発表によれば、警察の検問を装った5人の武装集団が、通りかかった車両に治安関係者が乗っていたため発砲し、これにより治安関係者

1名と民間人1名が死亡、その他数名の同乗者が負傷しました。その後、武装集団は通報に基づいて駆けつけた国家警察隊車輜にも発砲し、国家警察隊員2名が死亡、2名が負傷しました。

- (4) 2月17日午前0時半頃、シディ・ブジッド県において国家警察隊の検問に対し車1台が停止を拒否したため警察隊が車に向かって発砲し、銃撃戦に発展しました。乗っていたテロリスト2人は車を捨てて逃走し、2人と関係を有する1人が逮捕されました。テロリストが乗っていた車からは書類や複数の携帯電話が発見されました。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

当該事件の発生は認知していません。

5 対日感情

基本的に良好であり、特段の変化は見られません。

6 日本企業の安全に関する諸問題

日本企業を標的とした事例はありませんが、昨年1月に隣国アルジェリアで日本人が犠牲になったイナメナス事件が発生したこともあり、当国においても日本人・日本企業を標的とするテロ・誘拐事件が発生する可能性を完全に否定することはできませんので、常に警戒を怠ることなく、自らの安全確保に十分注意することが必要となります。

また、外務省ホームページ等で「スポット情報」、「危険情報」等を掲載しておりますので、渡航前にはこれらの情報を参照されるとともに、テロ事件等の不測の事態に遭遇した際には、大使館に速やかに連絡されるようお願いします。